

# Labo News

## らぼニュース

発行所 公益社団法人愛知県臨床検査技師会  
住所 名古屋市中村区名駅5-16-17  
花車ビル南館 〒450-0002  
電話 052-581-1013  
FAX 052-586-5680  
ホームページ <http://www.aichi-amt.or.jp/>  
Eメール [aamt@aichi-amt.or.jp](mailto:aamt@aichi-amt.or.jp)  
取引銀行 三菱東京UFJ銀行 柳橋支店  
普通口座731-677  
発行人 松本 祐之  
編集人 山田 真

## No.381 目次

- ◆国民の皆様へ「臨床検査技師」を広報するための「季刊誌 pipette(ピペット)」が創刊されました。… (2)
- ◆ちょっと木(気)になる。…………… (2)
- ◆平成25年度日臨技・中部圏支部微生物検査研修会報告…………… (3)
- ◆New Yearパーティを開催します! …… (3)
- ◆第36回愛臨技スポーツ大会報告 …… (4)
- ◆平成25年度愛知県大腸がん検診従事者講習会実施要領…………… (5)
- ◆尾張東地区研修会のご案内…………… (6)
- ◆西三河地区研修会のご案内…………… (6)
- ◆講演会…………… (7)
- ◆AiCCLS 愛知県臨床検査標準化協議会通信 (第24回)…………… (8)

## 平成25年度 愛臨技精度管理事業部の活動について

愛臨技精度管理事業部長 鈴木 博子

愛臨技精度管理事業部では、今年度から日臨技JAMTQCを利用して精度管理調査の申込みから結果報告までを実施しました。各研究班の精度管理担当者は初めての試みということもあり、システムマスタ設定に苦心しながらも手引書作成、試料発送、測定値集計など膨大なエネルギーを費やして取り組んできました。すでに課題は色々と挙がっており、来年度はアンケートで寄せられたご意見なども踏まえて、更に完成度を高めていきたいと考えています。参加施設への連絡は、今年度メールで一斉配信させていただいたことが好評でしたので、来年度は二次サーベイ申込みなどの個別連絡もメールを活用できないか検討していきます。

このらぼニュースが皆様のお手元に届く頃には今年度の結果検討会も終わり、残すは総集発行と平成26年3月8日(土)に開催する報告会のみとなります。結果検討会は、単にデータ解離の是正だけではなく、施設が抱えている問題点を相互に確認し、解決策を導き出す過程をサポートする場であると考えています。やむをえず出席できなかったご施設の方、日頃精度管理について疑問に思っていることがある方は、基幹施設や研究班を通じて問題提起をしていただければ幸いです。報告会は3月8日(土)に名古屋第一赤十字病院 バースセンターにて開催します。今年度から報告会と講演会を開催する予定です。年度末の忙しい時期ですが、愛臨技精度管理調査の集大成にしたいと考えておりますので是非ご参加ください。

また、日臨技HP、愛臨技HP、愛臨技らぼニュースにてご案内の通り、すでに今年度は日臨技精度保証施設認証制度の申請が終了しており、審査を実施しているところです。日臨技は1000施設を目標に掲げており、この目標を達成することが厚労省への保険点数取得への働きかけを後押しします。今年度申請できなかったご施設、来年度更新を予定しているご施設は、是非とも申請費用5万円の予算申請を準備していただくようお願いいたします。精度保証認証の取得に向けて皆様のご理解と目標達成へのご協力をお願いいたします。

## 国民の皆様へ「臨床検査技師」を広報するための 「季刊誌 pipette(ピペット)」が創刊されました。



日臨技の平成25年度事業計画における新規・重点項目の中に掲げられた〈臨床検査の重要性と臨床検査技師の存在を国民にPRする〉ための取り組みが、「検査と健康展」の実施や広報誌の配布です。

『「臨床検査技師」って? 季刊誌ピペット』を職業広報誌の位置づけで創刊する運びとなりました。発行は年4回発行の季刊紙です。

本誌は国民向け配布のため、「15分あれば読み切れる手軽さ」を意識し平易な内容となっています。会員の皆さまには、日臨技のホームページ上で開示致しますので、広報誌の実物は国民や施設長などに配ったとしても、電子ブックとしてはいつでも読むことができます。読者として、またPRマンとしてのご意見をお待ちしています。

### 【創刊号の目次】

- ・グジジョブ・技師のお仕事  
    ゲスト：東京大学名誉教授 養老 孟司 氏
- ・空想検査  
    藤原 道長編
- ・トピックス  
    JAMT関連のトピックス  
[http://www.jamt.or.jp/books/pipette/pageview.html#page\\_num=1](http://www.jamt.or.jp/books/pipette/pageview.html#page_num=1)

## ちよつと木(気)になる。

なんの木?



平成25年11月2・3日に開催された第52回日本臨床細胞学会秋季大会のドリンクコーナー横に展示されていました。

答え：アカミノキ（英名："Logwood"、学名：Haematoxylum campechianum）

この木の樹液が皆さんご存知、核の染色に使われるヘマトキシリンです。

アカミノキはメキシコ原産で、高さ7～10mになる常緑の小高木です。花は淡黄色で、芳香があり、良質の蜜源になります。

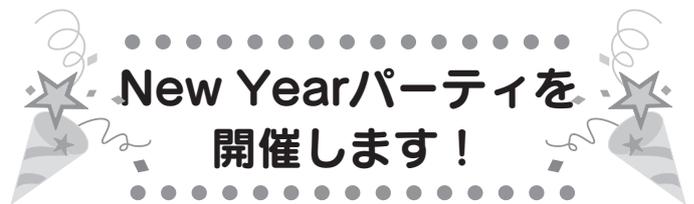
観賞用としていかがですか？

## 平成25年度日臨技・中部圏支部 微生物検査研修会報告

江南厚生病院臨床検査技術科ICMT 舟橋 恵二

去る11月3日愛知県名古屋市において、日臨技・中部圏支部微生物検査研修会が開催された。『輸入感染症－微生物担当者の経験－』をテーマに開催された研修会であり、「知識・経験と情熱・活力の融合」「患者の信頼に足る臨床検査技師を目指して」を追求するといった内容であった。

特別講演では尾崎隆男先生によるわが国のワクチンの問題点や今後の展望を極めて分かり易くご講演頂き、ウイルス感染症の恐怖やワクチン接種の必要性を学んだ。症例発表では、実際に愛知県の臨床検査技師が経験したデング熱、マラリア、パラチフス、赤痢について検討した。日常業務の中で比較的稀である症例は、時として混乱したり検査遅延を招くことがあり、資料の整理やスタッフのコンセンサスが必要である。そのためには医師・看護師との、または技師間のコミュニケーションやインフォメーションコントロールといったスキルが求められる。今回の研修会は、開会から閉会まですべてグループで行動した。症例の紹介後、グループワークで詳細にわたるまで「話し」合うことができた。これらの経験を臨床でも活かしていきたいと思う。



恒例となりました「New Yearパーティ」を下記のとおり企画いたしました。普段接することのできない他施設や他部門の会員との情報交換、ベテランから新人への知識や技術の継承をこの機会に行いましょう。会員および賛助会員皆様の交流の場です。多数のご参加をお待ちしています。

なお、準備の都合がありますので、12月20日(金)までに別途用意した出席表によるFAX、あるいはメールにて愛臨技事務所までお申し込み下さい。

記

日 時：平成26年1月17日(金) 19:00～21:00  
(受付は18:30より行います)

場 所：アサヒスーパードライ名古屋  
名古屋市中村区名駅南1-17-23  
ニッタビルB1

電話 052-566-2001

JR名古屋駅徒歩5分 下記地図参照

会 費：5,000円

当日、受付にて徴収させていただきます

申込期限：平成25年12月20日(金)

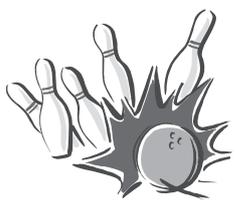
問合せ先：愛臨技 組織部 大橋 功男

公益財団法人 春日井市健康管理事業団  
春日井市健康管理センター

電話：0568-84-3060 FAX：0568-84-3682

E-mail：runners-high@qa2.so-net.ne.jp





# 第36回愛臨技スポーツ大会報告



組織部

10月26日(土) スポルト名古屋で会員相互の交流を目的にボウリング大会が各地区、学術及び賛助会員の合計120名の参加で開催されました。

|       |           |
|-------|-----------|
| 団体成績： | 優勝 賛助会員A  |
|       | 準優勝 賛助会員B |
|       | 3位 尾張東地区  |



## 愛臨技ボウリング大会に参加して

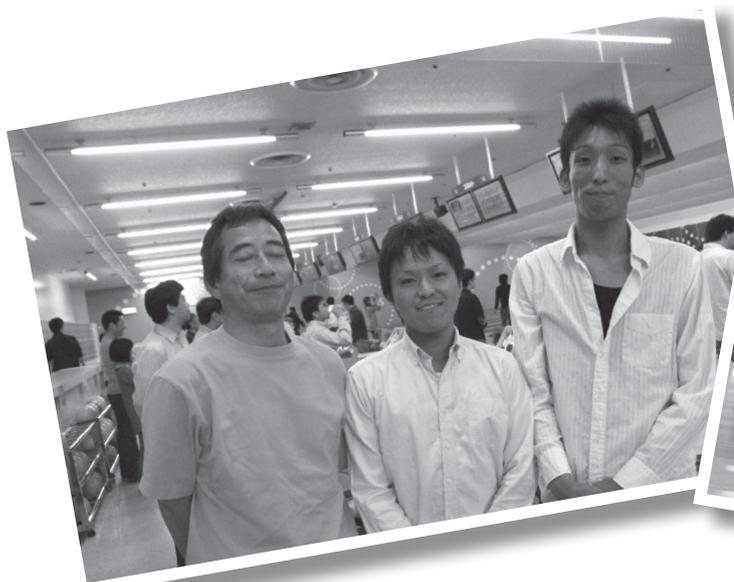
公立陶生病院 中川 景介

10月26日に名古屋市中区にあるスポルトにて、愛臨技ボウリング大会が行われ私は初めて参加しました。

実際に私と同じレーンだった方々は、愛知県の中でも異なる地域の病院のベテランの先生や業者の方々でした。会が始まる前から、他の職場の方々のお話を伺ってみたいと思っていました。しかし、いざ年齢の異なる先生方を目の前にすると言葉が出ませんでした。質問したいことは沢山あるが聞いてもよいのだろうか。など不安な気持ちでした。しかし、ゲームが始まった途端不安は徐々に薄れてきました。

た。まずはゲームを楽しむということがキッカケでコミュニケーションが増えました。先生方との話題をなかなか見出す事が出来ずにいた私にとって、ゲームによる楽しさを共有させて頂けたことは、どれだけ年代や職種の違う人たちであったとしても、最も簡単に交流できる手段の一つであったと実感しました。そして最終的には、意見交換をさせて頂く機会を頂きまして大変貴重な時間となりました。

日常生活の中では、他の職場の先生方と交流する機会を設けることは簡単ではなかったと思っていました。だからこそ今回のようなスポーツ大会を通して交流する場面を頂いたことは、私自身の成長にもなり非常に有益でした。そしてこれからも交流ということ大切にしていきたいと強く実感する事が出来た会でした。



# 平成 25 年度 愛知県大腸がん検診従事者講習会実施要領

- 1 目的  
愛知県における大腸がん検診が効果的に実施されるように、大腸がん検診に従事する者に対し、知識及び技術の向上を図ることを目的とする。
- 2 対象者  
保健所、市町村及び検診機関等で、大腸がん検診に従事している保健師、看護師及び臨床検査技師等
- 3 日 時  
平成26年2月6日(木)  
午後1時30分から午後3時40分まで
- 4 場 所  
愛知県がんセンター国際医学交流センター  
大会議室  
名古屋市千種区鹿子殿1-1  
電話：052-762-6111
- 5 内 容  
下記カリキュラムのとおり
- 6 申し込み期限  
平成26年1月30日(木)
- 7 受講の決定  
締め切り後、特に連絡のない場合は受講決定とします。
- 8 受講料  
無料
- 9 申し込み方法  
別紙申込書により、郵送またはFAXで申し込む。  
(愛臨技ホームページ・事務局からのお知らせに掲載)  
<申し込み先>  
〒466-0047 名古屋市昭和区永金町1-1  
公益財団法人愛知県健康づくり振興事業団  
電話：052-882-2961 FAX：052-882-2963

## 平成25年度愛知県大腸がん検診従事者講習会カリキュラム

| 時 間         | 講師及び内容   |
|-------------|--|
| 13:00～13:30 | 受 付  |
| 13:30～14:30 | 「免疫学的便ヘモグロビン検査の精度管理について」<br>医療法人 青山病院 平田 基裕 先生 |
| 14:30～14:40 | 休 憩  |
| 14:40～15:40 | 「大腸癌検診精度管理委員会からのレポート」<br>愛知三の丸病院 院長 岡田 正典 先生   |

## 尾張東地区研修会のご案内

専門教科：20点

日時：平成26年1月25日(土) 15:00～17:00

場所：公立陶生病院 第1会議室

テーマ：HLA検査の現状

講師：愛知県血液センター 学術課

加藤 道

司会：公立陶生病院 臨床検査部 瀧本 淳

内容：HLAの基礎的な解説から、血液センターで実施しているHLA検査をベースにLuminexを用いたHLA (HPA) 検査法などを解説していただきます。院内検査として導入している施設は少ないと思いますがこの機会に皆さんと共に勉強していきたいと考えております。多数の参加お待ちしております。

### お知らせ

生涯教育点数が関係する行事に参加される方は、必ず会員証をお持ち下さい。

会員証をお忘れになった方は、自己申請して頂くことになります。

申請用紙は愛臨技HPの各種手続きにあります。

## 西三河地区研修会のご案内

専門教科：20点

日時：平成26年2月22日(土) 15:00～17:00

場所：八千代病院 2F会議室

テーマ：「職場のメンタルヘルス」

～仕事を休む人たちに何が起きているのか～

講師：南豊田病院 精神科医師 足立 康則

司会：岡崎市民病院 臨床検査室 丹羽京太郎

内容：心の病にかかる人が増え、皆さんの周りでもいませんか？新型うつといったキーワードがでてくるなど社会問題化しています。休職を余儀なくされる病態には様々なものがあり、睡眠障害からうつ病などの精神疾患、自身や身近な人へ対応等実際わからないことが多い分野でもあります。講演では精神科医の先生よりうつ病と臨床検査との関連など専門的な内容も含め興味深いお話しが聴けるかと思えます。

会場の八千代病院は交通の便もよく、他地区の方はもちろん、一般の皆さんの参加も可能ですので、ご家族等もお誘い合わせの上、心の病について勉強してみませんか。

## 禁煙宣言



社団法人 日本臨床衛生検査技師会は、国民健康増進協力事業活動として禁煙運動を推進します。

1. 当会は、臨床検査技師の禁煙を推進します。
2. 当会は、医療施設及び公共施設における禁煙を推進します。
3. 当会は、受動喫煙による健康被害の排除を増進します。
4. 当会は、あらゆる禁煙運動を積極的に支援します。

## 講演会

### 輸血検査研究班

専門教科：20点  
日時：平成26年1月11日(土) 15:00～17:30  
場所：名古屋市立大学  
医学研究科・医学部研究棟11階講義室A  
テーマ：凝固異常と輸血療法  
講演1：血液の生理学  
藤田保健衛生大学 医療科学部  
准教授 中上 寧  
講演2：当院であった特殊凝固因子製剤の使用例  
豊田厚生病院 木村 有里  
講演3：先天性・後天性凝固異常症のマネジメント  
名古屋大学医学部附属病院 輸血部  
部長 松下 正  
司会：中部労災病院 中井美千代  
内容：「凝固異常と輸血療法」をテーマに講演会を開催します。まず、血液の機能について理解しておくべき知識を再確認したいと思います。続いて、凝固因子製剤を使用した事例を取り上げます。さらに、臨床における凝固異常の診断、治療について講演いただく予定です。

### 広報部からのお知らせ

皆さんは、愛臨技のホームページに色々な情報端末でアクセスされていると思いますが、らぼニュースが見れない場合ブラウザのChromeでアクセスしてみてください。

2013年11月10日現在 正会員数 2,799名

※求人情報、理事会・常務理事会議事録はホームページを御覧いただくか、事務所へお問合せください。

## 講演会

### 生理検査研究班

専門教科：20点  
日時：平成26年1月18日(土) 15:00～17:00  
場所：名古屋市立大学  
医学研究科・医学部研究棟11階講義室A  
テーマ：小児心電図の特徴  
「判読する？新生児期から乳児期の心電図」  
講師：藤田保健衛生大学医療科学部 教授  
畑 忠善  
司会：藤田保健衛生大学病院臨床検査部  
犬塚 斉  
内容：小児の心電図というと多くの方々は苦手意識をお持ちではないでしょうか？  
今回、小児科(循環器)の医師に新生児から乳児期までの幅広い心電図の見方・考え方を講演して頂きます。少しでも苦手意識を解消できるよう、企画をしました。多くの方のご参加をお待ちしております。

### 原稿募集

会員の皆様の原稿を募集しています。  
写真、豆知識、コーヒープレイクなどジャンルを問いません。  
愛臨技事務所へメールでお送りください。



# AiCCLS

## 愛知県臨床検査標準化協議会

### 通信 (第24回)

愛知県臨床検査標準化協議会（Aichi Committee for Clinical Laboratory Standardization：AiCCLS）は、愛知県下の医療施設への臨床検査標準化の啓発活動を軸とした質の高い検査結果の共有維持を目的として、活動しています。

今回は、前回に引き続き新しく発刊された刊行物、リーフレット「尿定性検査 ～尿試験紙検査法の手引き～」についてご紹介いたします。尿定性検査は簡単な検査ですが、さまざまな情報が得られるため最も多くの医療施設で行われている検査です。採尿、保管、検査法、検査の注意点など、とても見やすくまとめられていますので、是非ご活用ください。今回は尿試験紙検査法による偽陽性・偽陰性で反応を阻害するもの③を抜粋しました。

詳しい内容、購入方法については、愛知県臨床検査技師会HPの臨床検査標準化情報をご覧ください。

（AiCCLS：愛知県臨床検査標準化協議会）

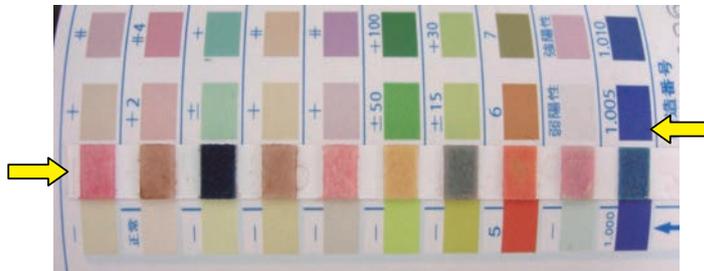
#### Ⅳ. 尿試験紙検査法による偽陽性・偽陰性

尿試験紙検査法では、薬剤の影響や尿自体の着色などによって異常な発色を示す場合があります、偽陽性・偽陰性の原因となります。

##### 3. 着色尿で試験紙の色の変化による判定が困難になるもの

血尿、ビリルビン尿および薬尿など強度の着色尿では、尿の着色により試験紙全体に色が重なり色の変化による判定が困難になります。無理に判定せず、医師に尿を見せるなどしてください。

例：血尿



赤い色が試験紙全体に重なって色調表の色と異なるため判定が困難になります。